

## 作業標準書作成チェックリスト | 別の人でも同じ品質に近づけるかを確認する

このチェックリストは、標準書を見れば、別の人でも同じ作業・同じ判断・同じ品質に近づけるかを確認するためのものです。作業標準書の新規作成時・属人化の解消検討・担当者変更や教育の前・不良が人によってばらつく時・自動化検討前の標準化レビューに活用できます。

主対象	製造現場リーダー、生産技術担当
副対象	品質管理担当、教育担当、改善担当、購買・調達担当
使うタイミング	作業標準書を新規に作成するとき／既存標準書の見直し時／作業が属人化していると感じたとき／担当者変更・新規配属・教育の前／不良や手戻りが人によってばらついているとき／自動化検討前の標準化レビュー／ISO等の認証審査・取引先監査の前
用意するもの	対象作業の現状観察記録（動画・写真・時間計測）／既存の標準書・手順書／限度見本・サンプル／図面・仕様書・品質基準／過去の不良記録・手戻り記録・改善履歴／教育記録・OJT記録／関連工程の標準書

### まず確認すべきこと

- ・ 作業手順だけでなく、判断基準（何を見てどう判断するか）が書かれているか
- ・ 良い状態・悪い状態が、写真・図・限度見本で確認できるか
- ・ 注意点・禁止事項・異常時対応が明記されているか
- ・ 新人や別担当者でも再現できる内容になっているか
- ・ 更新トリガー・承認フロー・参照場所が決まっているか

### チェックリスト本体

「できている／不十分／未確認」の□に印を付け、右欄に次の確認事項をメモしてください。

No	確認項目	できている	不十分	未確認	次に確認すること（メモ）
1	標準書を作成する対象作業が、品質・安全・コスト・教育のどれかの観点で選定されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	優先度の根拠／属人化リスクの大きさ
2	対象作業の目的・適用範囲（製品・条件・工程）が冒頭に明示されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	適用範囲の曖昧さ／例外品種の扱い
3	作業の前提条件（装置・治具・工具・材料・作業資格）が明示されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必要な資格・訓練の明文化
4	作業手順が、順序立てて、別の人が読んで再現できる粒度で書かれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	暗黙の手順が抜けていないか
5	各手順に判断基準（何を見て、どう判断するか）が組み込まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「経験で判断」になっている箇所の補完
6	良い状態・悪い状態が、写真・図・限度見本で確認できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	文章だけで伝えようとしている箇所
7	注意点・禁止事項・安全上のリスクが明記されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	過去のヒヤリ・事件事例の反映
8	異常時・例外時の対応手順（誰に連絡する／どこで止める）が書かれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	例外対応の連絡先・判断ルート
9	記録様式（何を／いつ／どこに記録するか）が標準書に組み込まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	記録の保管期間・参照方法
10	限度見本・チェックリスト・関連標準書との参照関係が明示されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	関連文書の最新版管理
11	新人や別担当者が、標準書と必要な補足教育で迷わず作業できることを試行で確認した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	試行で出た指摘事項の反映
12	関係者（現場・生産技術・品質・教育担当）のレビューを受けた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レビュー指摘の反映・承認記録
13	標準書の参照方法（紙・電子・タブレット）と保管場所が決まっており、現場で参照しやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現場での参照頻度・物理的アクセス
14	更新トリガー（工程変更・装置変更・材料変更・トラブル発生）と承認フローが明示されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	イベント駆動更新の定義
15	定期見直し（年1回など）の計画があり、改訂履歴が管理されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	過去版の参照可能性

No	確認項目	できている	不十分	未確認	次に確認すること（メモ）
16	教育・OJTと標準書が連動しており、新規配属時の教材として使われている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	OJTとの役割分担
17	現場と標準書の乖離を定期確認する仕組み（巡視・改善提案ルート等）がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現場からの改善提案の反映実績
18	取引先要求・社内基準・上下工程の標準書と矛盾していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	関連工程の標準書との突合

## チェック結果の見方

- ・「できている」が多い：標準書として基本的な構成は揃っている状態。教育プログラムへの組み込み、現場改善提案の取り込み、自動化検討の前段資料化に進みやすい
- ・「不十分」が多い：標準書が「作っただけ」で終わるリスク。判断基準の追記、写真・限度見本の補完、運用ルールの明文化をおすすめ
- ・「未確認」が多い：標準書と現場の乖離、属人化の温存が起きている可能性。現状観察と関係者レビューからやり直しをおすすめ
- ・目安：未確認0～3個＝大きな抜け漏れは少ない／4～7個＝教育・品質を含めた再レビュー推奨／8個以上＝構成と運用設計の再検討推奨

## メモ

Web版（本記事の詳細・関連記事）

<https://kouteinavi.com/articles/work-standard-document-checklist/>

本資料は一般的な参考情報です。具体的な判断は、図面・社内基準・取引先要求・専門家への確認を前提としてください。  
 金属加工後工程ナビ | <https://kouteinavi.com/>

